

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

豊かな未来に向けて一総合生活産業へ。お客様が毎日寄ってみたいくなる楽しい書店づくりを目指す。

ROE
10%以上

② 中長期の経営戦略

1. 書籍・雑誌販売強化

ブックセラーズ&カンパニーからの仕入増加。買切り書籍取扱い開始。雑誌の買切り方式継続。

3. トレーディングカード導入

トレーディングカード及びガシャポンのデパート導入拡大。売上は拡大基調で堅調。

2. 文具・雑貨拡大

収益性の高い文具・雑貨の売上拡大。36ヶ月連続で既存店舗の前年同月売上超過。

4. 教育事業との融合

プログラミング教育HALLOと書店の融合。Gakken脳げんきサロン導入。シナジー効果創出。

③ 対処すべき課題

① 紙媒体市場の縮小

- ・書籍・雑誌市場は引き続き縮小傾向
- ・書店数減少・返品率の高さという構造的課題
- ・リアル書店での販売が厳しい状況継続

② 経営環境の不確実性

- ・エネルギー価格高止まり・中東情勢リスク
- ・物価上昇が実質購買力に悪影響
- ・消費者心理の回復に時間を要する

③ 収益力向上と財務強化

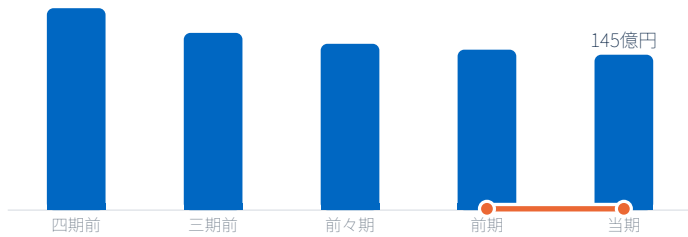
- ・最低賃金上昇による人件費増加への対応
- ・既存店舗の収益力向上が重要課題
- ・利益率の改善を通じた自己資本利益率向上

面接で使えるポイント

- ・2019年の事業再生ADR手続を経て再生計画を実行中。今後さらなる成長を目指す段階。
- ・文具・雑貨が36ヶ月連続で前年同月売上超過。トレーディングカードも拡大基調の好調。
- ・プログラミング教育HALLOやGakken脳げんきサロンなど教育事業と書店の融合でシナジー創出。

証券コード 9978

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
神奈川県川崎市に本社を置く持株会社で、直近期の連結売上高は145億円

主力事業・セグメント

- ・小売業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・平均勤続24.6年と定着率が高い

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
145億円

営業利益率
▲0.6%

財務健康度
8点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 37.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
616万円

小売業内 93位/318社

平均年齢
50.7歳

小売業内 16位/318社

平均勤続
24.6年

小売業内 5位/318社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

